

平塚市美術館 休館中事業の概要

1. 基本的な考え方 メインテーマ「湘南の美術・光」に基づく3つの基本方針（1. ぐらしに寄り添う、2. 地域とつながる、3. 地域への誇りを育む）に沿った事業を休館中においても継続して実施する。別紙「休館中業務・事業（案）一覧」の中から経費、人員等を勘案し年間プログラムを作成し、実施する。

2. 事業概要 市民が参加する「オープン事業」とリニューアルオープンに向けた整備業務としての「クローズド事業」の2種を想定する。

オープン事業

1. 普及プログラム

多様な参加者を考慮した休館中ならではの普及プログラムを提供する。

2. 情報発信プロジェクト

平塚市の文化および美術館活動の認知度の向上を目指す。

屋外プログラム、連携プログラム、スクールプログラム

- ・出縄野焼きプログラム／ワークショップ 平塚の海岸の色探し／ワークショップ・市内彫刻ツアー／彫刻洗浄体験など
- ・ワークショップ・誰でもアート／手話で鑑賞 平塚市美術館コレクションなど
- ・学校連携事業・対話による美術鑑賞事業／教員向け鑑賞講習会など

サテライト展示、国立M.K.チュルリョーニス美術館（カウナス）交流展示、広報発信プロジェクト

- ・美術館 開館から現在まで・資料展示、国立M.K.チュルリョーニス美術館での「川瀬巴水展」など
- ・定期的なウェブサイト更新・SNS発信、「広報ひらつか」でのコレクション紹介など

クローズド事業

3. 開館準備業務

工事内容の検討・確認およびリニューアルオープン準備全般。

4. 作家・作品等情報整備

収蔵作品の修復および作家・作品情報を整備しオンライン公開の準備等。

工事関連業務、リニューアルオープン準備

- ・工事内容の検討・確認など
- ・リニューアルオープン展・リニューアルオープンセレモニー・イベント策定・準備作業、レストラン・ミュージアムショップ検討・準備など
- ・外部資金（助成金、寄付等）の獲得など

収蔵作品未公開画像の随時公開、作家別資料の整理、作品修復作業および保管方法検討

- ・画像公開に向けた著作権者との連絡・許諾申請、全国美術館収蔵品サーチ「SHUZO」の画像登録
- ・作家ごとの作品情報を整理・災害時対応等の検討など
- ・集中的な作品修復作業、収蔵庫内での作品収蔵場所・方法を検証・効率的な収蔵の検討など

3. 成果目標

- （1）休館中だからこそ取り組むことができる市内各所で開催するプログラムを通して、地域に根差した開かれた美術館であることを周知するための事業を推進する。
- （2）市内外の諸機関・団体等との連携を深め、少子高齢化社会への対応や多様性の尊重など社会課題に美術の側面からアプローチする新たなプログラムに挑戦する。
- （3）作家・作品情報の整備を基礎にした調査・研究を継続し、美術分野における最新の情報発信拠点であり続けるとともに、国際的な活動にも取り組むことで、国内外における平塚市のメージアップに貢献し、地域の誇りを育む機関としての活動を展開・強化する。